



ちばの学童保育

2013年 7月22日発行97号

本号の紙面	
全国学童保育指導員学校報告	1頁
情勢／ほいく誌紹介	2頁
学童保育所／学ほ誌活動感想	3頁
千葉県連総会報告 他案内	4頁

発行者 千葉県学童保育連絡協議会 船橋市本町3-4-3 千葉保育センター内
TEL047-424-8102 FAX047-424-8108 e-mail chibagakudo@nifty.com

第38回 全国学童保育指導員学校 南関東会場

2013年6月2日(日)大東文化大学板橋キャンパスで第38回全国学童保育指導員学校(南関東)が開催されました。参加者869名のうち千葉からは200名の参加がありました。基調報告では、学童保育と厳しい条件のもと指導員の役割と仕事ますます重要になっている指導員の現状の報告がありました。また、今回の全体講義は垣内国光(明星大学教授)先生による「子どもを理解することが仕事、ゆらぐことも仕事」でした。指導員や特別支援学校での教師の体験談を例に、どのように子どもに向き合い、子どもの理解を捉えたらよいのかがわかりました。しかし、子どもと向き合いながらも「自分はダメな指導員」と落ち込むこともある。こうした自信喪失な感情でゆらぐ自分を認めることは大切であり、ゆらぎから次の援助を生み出すこと、指導員の仕事は高度な専門職労働であると話されました。

午後の分科会は20講座。入門講座、理論講座、実践講座、実技講座がありましたが、今回は理論講座6「発達障害のある子どもたちの理論と支援」に参加した感想を紹介します。元小学校教諭である現國學院大學講師の大和久勝氏の教諭時代に出会った発達障害の子どもとの体験談などから、発達障害の理解と支援・指導を聞くことができました。また質疑応答では現在指導員が抱えている具体的問題を講師に質問するなか、自身の子どもが発達障害と診断された指導員からも質問がありました。また、指導員だけでなく、自分の通う学童保育所の問題点の一つとして、今回のこの講座に参加している保護者も若干名でしたがいました。

今回、保護者としてはじめて「指導員学校」に参加してみました。子ども達が楽しく安心して過ごせる学童保育づくりには指導員の関わりが大きく影響します。指導員の仕事としての理解や確立は大切で、子どもを預ける親としても無視できない内容です。指導員たちが学習・交流する指導員学校ではありますが、子育て中の親や学童保育の活動に参加する保護者にも指導員の仕事を理解でき、学童保育を今までとは違う角度から知ることができる、良い体験ができました。

学童保育をめぐる最近の動き



学童保育に関する基準作りは、厚生労働大臣の諮問機関である社会保障審議会児童部会の中に「放課後児童クラブの基準に関する専門委員会」が作られ国の学童保育の基準の検討が始まりました。ここでは各市町村が学童保育の条例作りに関する「従うべき基準」と「参酌すべき基準」が話し合われます。

以前お知らせした様に、2013年度に各市町村で学童保育の基準作りを行い、2014年度に各市町村で学童保育の設置・運営基準等を条例化し、2015年度4月から条例は実施されます。

一番重要な点は、今回の条例で各市町村の既存にある学童保育だけではなく、その後この条例に適合していれば、届け出だけで学童保育に誰でも新規参入でき、補助金も既存の施設と同等に受け取れる点です。

児童福祉法改正で放課後児童クラブが6年生までの事業と位置付けられました。6年生までを対象とするため一気に増える待機児童解消のために民間の新規参入が出来るように条例作りをしています。

そのためにも各市町村の条例作りには、私たち利用者の声を反映してもらえる様に運動しましょう。

千葉県連協では、皆様に様々な情報をお届け出来るように致します。

※日本の学童ほいく8月号特集 『市町村の基準づくりを考えようー「条例・規則」を設置・運営基準』も是非、読みましょう。

日本の学童ほいく

日本で唯一の学童保育に関する専門誌です。月刊で発行。1冊330円(送料76円)でお届けします。

学童保育に関するありとあらゆる情報が満載。全国で4万人の人が購読しています。



7月号表紙

7月号特集『楽しく食べる おいしく食べる♪』です。皆さんにもぜひ読んでもらいたい1冊になっています。

- 今回の特集は「楽しく食べる おいしく食べる」です。家庭での食卓の様子や工夫は誰でも共感できたり、感心したり……。指導員の学童保育でのおやつは、畑をつくり食材から食を学びながら楽しく食べる様子や賑やかなおやつの風景が伺えます。学童保育でのおやつについての意味や大切にしたいことを学び、日々の食のあり方やおやつについて考え合うことができる内容となっています。



わたしたちの学童保育所

千葉市の学童保育所

千葉市の学童保育は、2000年(平成12年)に、それぞれ各父母会で運営してきたものから公設・社協委託に移行しました。移行した当初は60か所だった子どもルームが、2013年4月現在は125か所(社協委託以外で2か所法人運営)になり約6800人の子どもが通っています。これは、小学1～3年生までの4人に1人が子どもルームに通ってきている事になります。しかし、公設になり施設と利用児童数は大きく増えましたけれども、多くの問題が出てきています。

1つは一人当たりの施設面積(1人当たり1.65㎡)を超えて子どもたちを詰め込む弾力稼働(1人当たり1.5㎡で計算した受け入れ稼働)が多くの子どもルームで行われていることです。また、市内には80名～100名規模の大規模ルームも存在し、子どもたちの生活の質や安全性が低下していることが心配されます。

2つめは指導員の配置が十分ではなく、また、指導員の雇用環境も劣悪なことです。指導員は1年雇用で低賃金なため、募集に対し応募が少なく、決められた配置人数より欠けている子どもルームもあります。そのほか、施設の老朽化や設備も不十分などところがあるなど多くの問題を抱えています。

そのような中、千葉市内の父母会と指導員が集まって「千葉市学童保育連絡協議会(以下、市連協)」を構成し、活動しています。市への学童保育改善のための要望書を出したり、子どもルーム同士の交流を図ったりしています。子どもルーム同士の交流では、年に7回程度行われる幹事会で各ルームの状況を交流し、ニュースで夏休み中の父母会行事の紹介などもしてきました。年に1度の「子どもまつり」では千葉ポートパークを借りて、子どもたちのステージ発表や各ルームの模擬店出店、全体遊びなどで盛り上がります。市連協に加盟していない子どもルームも含めて全ての子どもルームに案内を出し、たくさんの方が来場します。



「日本の学童ほいく」活動・感想

我孫子市 太陽クラブ(湖北台東小学童)ほいく誌担当

我孫子市では、放課後対策事業のスタッフと各学童の父母会で購入しています。私たちの勤務する保育室では、一年生を中心に保護者の皆さんに回覧して読んでいただいています。時には“よく読んでたら返すのが遅くなってしまいすみません”という父母の方もいます。そして回覧が終わった本は、出入り口の近くにおいて自由に読んでもらっています。スタッフは、「こどもランド」のクイズを子ども達とやったり、本にのっているおやつをお誕生日会に出してみたり・・・そしておすすめの絵本コーナーでは、子ども達に読んであげたい本がのっていて、とても参考になります。我孫子市では職員もこの本を購入して読んでいます。

千葉県学童保育連絡協議会 総会



2013年6月30日(日)船橋市中央公民館にて各加盟団体から代表者が集まり、2013年度総会が開かれました。会長挨拶から来賓(千葉県保育問題協議会会長田島潤一氏)より、新制度による大きく変わる保育内容と保育センターの耐震調査による結果から、今後の移転や建直しの対応を検討している報告がありました。また今回は各市連協の活動も難しくなるなか改めて「れんらくきょうぎかいとは」を「子ども・子育て関

連三法」からと「日本の学童ほいく」(5月号参照)を読みながら、連絡協議会の役割や意義など皆で考えました。そして議長選出後は、活動報告・決算報告が承認され、2013年度活動方針・予算では、未加盟地域への活動方法についてや県行政との関わりなどに対する質疑応答などがありました。また再提案も含めて承認が得られました。また役員承認の後、閉会後は地域交流も行われました。4時間半でしたが、まだまだ議論も交流も足りないほど活発な発言があり、次回の幹事会に期待ができる総会でした。

第33回千葉県学童保育指導員学校

2013年12月1日(日) 四街道市文化センター

会場の都合で、午前・午後の分科会を予定しています。現在、実行委員会で講座内容など話し合いが進められています。全国指導員学校で話されていたように、学びには各自の主体性が重要であり、参加者一人ひとりがつくる指導員学校にしていきましょう。

皆で行こう！
岡山！！

全国学童保育研究集会 in 岡山 2013年10月5日(土)全体会：桃太郎アリーナ
10月6日(日)分科会：岡山大学